# 令和元年度事業報告書

自　平成31年４月１日
至　令和２年３月31日

公益財団法人日本離島センター

# 目　　次


第１　総務に関する事項――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――１
　１．構成員の現況――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――１
　２．役員・評議員の異動――――――――――――――――――――――――――――――――――――１
第２　会議に関する事項――――――――――――――――――――――――――――――――――――――２
　１．評議員会――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――２
　２．理事会――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――３
　３．監　査――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――４
第３　事業に関する事項――――――――――――――――――――――――――――――――――――――５
　（１）研修・派遣――――――――――――――――――――――――――――――――――――――５
　　①研修事業――――――――――――――――――――――――――――――――――――――５
　　ア．令和元年度離島市町村等職員研修――――――――――――――――――――――――５
　　イ．第２８期島づくり人材養成大学――――――――――――――――――――――――７
　　ウ．離島振興実務担当者研修（しまづくりサミット）――――――――――――――９
　　エ．「しまづくりフォーラム」の開催――――――――――――――――――――――９
　　②派遣事業――――――――――――――――――――――――――――――――――１０
　（２）調査研究――――――――――――――――――――――――――――――――――――１１
　　①離島の実態調査等――――――――――――――――――――――――――――――１１
　　②海外離島調査――――――――――――――――――――――――――――――――１１
　（３）資料の収集整備――――――――――――――――――――――――――――――――１２
　　①資料の収集――――――――――――――――――――――――――――――――――１２
　　ア．購入図書／文献――――――――――――――――――――――――――――――１２
　　イ．寄贈図書／文献――――――――――――――――――――――――――――――１２
　　ウ．購入ＣＤ・ＤＶＤ――――――――――――――――――――――――――――――１６
　　エ．寄贈ＣＤ・ＤＶＤ――――――――――――――――――――――――――――――１６
　　②資料等の電子データ化――――――――――――――――――――――――――――１６
　（４）広報宣伝――――――――――――――――――――――――――――――――――――１７
　　①資料及び図書の作成・刊行――――――――――――――――――――――――――１７
　　ア．『離島統計年報』の刊行――――――――――――――――――――――――――１７
　　イ．広報誌『しま』の刊行――――――――――――――――――――――――――――１７
　　ウ．日本の島ガイド『ＳＨＩＭＡＤＡＳ（シマダス）』改訂版の刊行――――――１８
　　②「アイランダー２０１９」への開催協力――――――――――――――――――１９
　　③各種離島ＰＲ活動――――――――――――――――――――――――――――――２１
　　ア．「しまづくりキャラバン」の開催――――――――――――――――――――――２１
　　イ．離島の観光・物産等振興宣伝活動への助成――――――――――――――――――２１
　　ウ．離島の果たす国家的・国民的役割のＰＲ事業――――――――――――――――２２
　（５）情報化推進――――――――――――――――――――――――――――――――――２３
　　①離島データバンク事業の実施――――――――――――――――――――――――――２３
　　②Ｗｅｂによる情報提供――――――――――――――――――――――――――――２３
　（６）人材育成――――――――――――――――――――――――――――――――――――２４
　（７）受託事業――――――――――――――――――――――――――――――――――――２６
　　①資源エネルギー庁補助事業――――――――――――――――――――――――――２６
　　ア．間接補助事業――――――――――――――――――――――――――――――――２６
　　イ．事務処理事業（管理事業）――――――――――――――――――――――――――２７

# 第１　総務に関する事項

## １．構成員の現況

| 区　　分 | 平成31年4月1日 | 令和2年4月1日 |
|---|---|---|
| 評　議　員 | 計　13 人 | 計　11 人 |
| 役　　員 | 理 事 長　1人<br>専務理事　1人<br>理　　事　12人<br>監　　事　3人<br>計17人 | 理 事 長　1人<br>専務理事　1人<br>理　　事　12人<br>監　　事　3人<br>計17人 |
| 会　　員 | 137市町村 | 137市町村 |
| 賛助会員 | 2法人 | 2法人 |
| 関係都道県 | 27都道県 | 27都道県 |

## ２．役員・評議員の異動

| 日　付 | 役職名 | 事由 | 氏　名 | 職　名 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| R1.5.28 | 評議員 | 退任 | 須田　善明 | 宮城県女川町長 | |
| | 評議員 | 退任 | 田渕川寿広 | 鹿児島県中種子町長 | |
| R1.6.19 | 評議員 | 就任 | 佐藤　　昭 | 前宮城県塩竈市長 | 定時評議員会 |
| | 評議員 | 就任 | 小園　裕康 | 鹿児島県南種子町長 | 〃 |
| | 理　事 | 退任 | 松本　　篤 | 香川県小豆島町長 | 〃 |
| | 理　事 | 退任 | 西　　浩三 | 前長崎県小値賀町長 | 〃 |
| | 理　事 | 就任 | 小林　眞一 | 香川県直島町長 | 〃 |
| | 監　事 | 退任 | 比田勝尚喜 | 長崎県対馬市長 | 〃 |
| | 理　事 | 就任 | 比田勝尚喜 | 長崎県対馬市長 | 〃 |
| | 監　事 | 就任 | 西村　久之 | 長崎県小値賀町長 | 〃 |
| R1.9.10 | 評議員 | 退任 | 佐藤　　昭 | 前宮城県塩竈市長 | |
| R2.3.31 | 評議員 | 退任 | 外間　守吉 | 沖縄県与那国町長 | |

# 第２　会議に関する事項

## １．評議員会

＜定時評議員会（みなし決議）＞

（１）日　時：令和元年６月１９日（水）（決議があったものとみなされた日）

（２）議　案：第１号議案　平成３０年度事業報告及び附属明細書について

第２号議案　平成３０年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録について

第３号議案　役員の選任について

第４号議案　評議員の選任について

※上記議案はいずれも原案通り承認。

＜第１回臨時評議員会＞

（１）日　時：令和元年１１月２６日（火）１４時

（２）場　所：東京都千代田区「全国町村会館第１会議室」

（３）出席者：評議員７名　理事長１名　専務理事１名　監事３名

（４）経　過

①開会

②理事長挨拶　　荒木耕治理事長

③議長の選出　　平木伴佳島根県知夫村長を選任

④議事録署名人　平木伴佳島根県知夫村長、本保建男新潟県粟島浦村長

⑤議案審議　　第１号議案　令和元年度収支補正予算について

※上記議案は原案通り承認。

＜第２回臨時評議員会＞

（１）日　時：令和２年２月１３日（木）１３時３０分

（２）場　所：東京都千代田区「全国町村会館ホールＢ」

（３）出席者：評議員９名　理事長１名　専務理事１名　監事２名

（４）経　過

①開会

②理事長挨拶　　荒木耕治理事長

③議長の選出　　黒田成彦長崎県平戸市長を選任

④議事録署名人　黒田成彦長崎県平戸市長、小園裕康鹿児島県南種子町長

⑤議案審議　　第１号議案　令和元年度収支補正予算について

第２号議案　令和２年度事業計画について

第３号議案　令和２年度収支予算について

※上記議案はいずれも原案通り承認。

## ２．理 事 会

＜第１回理事会＞

（１）日　時：令和元年６月４日（火）１４時

（２）場　所：東京都千代田区「全国町村会館第１会議室」

（３）出席者：理事８名　理事長１名　専務理事１名　監事１名

（４）経　過

①開会

②理事長挨拶　　荒木耕治理事長

③理事長及び専務理事の職務執行状況の報告について

④議事録署名人（出席監事）前田弘監事、比田勝尚喜監事、川添健監事

⑤議案審議　　第１号議案　就業規程の一部改正について

第２号議案　平成３０年度事業報告及び附属明細書について

第３号議案　平成３０年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録について

第４号議案　令和元年度定時評議員会の招集及び提出議案について

※上記議案はいずれも原案通り承認。

＜第２回理事会（みなし決議）＞

（１）日　時：令和元年６月１９日（水）（決議があったものとみなされた日）

（２）議　案：第１号議案　理事長及び専務理事の選任について

※上記議案はいずれも原案通り承認。

＜第３回理事会＞

（１）日　時：令和元年１０月２３日（水）１０時３０分

（２）場　所：東京都千代田区「全国町村会館第１会議室」

（３）出席者：理事９名　専務理事１名　監事３名

（４）経　過

①開会

②理事長挨拶

③理事長及び専務理事の職務執行状況の報告について

④議事録署名人（出席監事）前田弘監事、西村久之監事、川添健監事

⑤議案審議　　第１号議案　令和元年度収支補正予算について

第２号議案　令和元年度第１回臨時評議員会並びに第２回臨時評議員会の招集及び提出議案について

※上記議案はいずれも原案通り承認。

＜第４回理事会＞

（１）日　時：令和２年２月１３日（木）１０時３０分

（２）場　所：東京都千代田区「全国町村会館ホールＢ」

（３）出席者：理事９名　理事長１名　専務理事１名　監事２名

（４）経　過

①開会

②理事長挨拶　　荒木耕治理事長

③理事長及び専務理事の職務執行状況の報告について

④議事録署名人（出席監事）前田弘監事、川添健監事

⑤議案審議　　第１号議案　令和元年度収支補正予算について

第２号議案　令和２年度事業計画について

第３号議案　令和２年度会費賦課方法について

第４号議案　令和２年度収支予算について

第５号議案　「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」の一部改正について

※上記議案はいずれも原案通り承認。

３．監　　査

令和元年５月１０日（金）午後４時から日本離島センター会議室において、前田弘（東京都神津島村長）・比田勝尚喜（長崎県対馬市長）・川添健（鹿児島県長島町長）各監事により平成３０年度事業報告及び収支決算について監査が行われ、小島専務理事、仲田事務局長、二藤総務部長、水総務課長、小山田会計係及び高山、伊賀顧問会計士が立ち会った。

# 第３　事業に関する事項

**（１）研修・派遣**

①研修事業

ア．令和元年度離島市町村等職員研修

令和元年度離島市町村等職員研修は、「市町村アカデミー」（公益財団法人全国市町村研修財団）の年度研修計画の専門実務課程「観光戦略の実践」クラスに、本財団が計画する離島市町村等職員を対象にしたカリキュラムを設定し、市町村アカデミーの協力を得て開催した。

今年度は、５道県、６市町村から職員７名（本財団職員含む）が参加し、活発な交流活動の推進による島おこし方策が検討された。

日　時：令和２年１月２０日（月）～１月２４日（金）
場　所：千葉県千葉市「市町村アカデミー」
主　催：公益財団法人全国市町村研修財団
テーマ：観光戦略の実践

参 加 者

| 都道県 | 市町村 | 氏　名 | 役　　職 |
|---|---|---|---|
| 北海道 | 奥尻町 | 舘岡　洋典 | 地域政策課政策推進係主査 |
| 宮城県 | 石巻市 | 櫻井　大輔 | 地域振興課主事 |
| 新潟県 | 佐渡市 | 齋藤　博文 | 観光振興課観光振興係長 |
| 香川県 | 観音寺市 | 伊瀬　愛美 | 企画課企画調整係主任 |
| 鹿児島県 | 三島村 | 平　　裕介 | 定住促進課主事 |
| 鹿児島県 | 十島村 | 後野真由美 | 地域振興課主査 |
| (公財)日本離島センター | | 井口　雄大 | 総務係・広報係 |

# 時　　間　　割

［専門実務課程］

**科目名：観光戦略の実践**

担当教授：廣田 慎子
担当主査：髙砂　怜子

令和２年１月２０日（月）～１月２４日（金）

| 区 分 | 午　　前 | | | 午　　後 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 9:00～ | 9:25～10：35 | 10：50～12：00 | 13：00～14：10 | 14：25～15：35 | 15：50～17：00 | 17：00～ |
| １月２０日<br>（月） | | | | 13:30～15:00 入所 | 15:30～入寮オリエンテーション<br>16:00～開講式<br>16:30～開講オリエンテーション | | |
| １月２１日<br>（火） | 観光による地域創生～ＤＭＯによる観光マーケティングと観光地域経営～（講義）<br>ＤＭＯ推進機構代表理事<br>大社 充　事業構想大学院大学客員教授 | | | 地域の魅力発信の手法（講義）<br>東海大学文化社会学部<br>河井 孝仁　広報メディア学科教授 | | 課題演習（討議）<br>廣田教授 | 課題演習（討議） |
| １月２２日<br>（水） | 地域観光資源の発見と活用、そして実践に向けて（講義・演習）<br>大下 茂　帝京大学経済学部観光経営学科教授 | | | | | 課題演習（討議）<br>廣田教授 | 課題演習（討議） |
| １月２３日<br>（木） | インバウンド観光の展望と地域活性化（講義）<br>村山 慶輔 株式会社やまとごころ代表取締役 | | | 地域観光事業者との関係づくりとマーケティング戦略（講義）<br>西山 雅文※１ | | 課題演習（討議）<br>廣田教授 | 課題演習（討議） |
| １月２４日<br>（金） | 課題演習（発表・講評）<br>ＤＭＯ推進機構代表理事<br>大社 充　事業構想大学院大学客員教授 | | | 終了式12：10～ | | | |

※１：西山 雅文 長野市総務部職員研修所所長補佐、元商工観光部観光振興課課長補佐、元市町村アカデミー教授

イ．第２８期島づくり人材養成大学

本大学は、コミュニティの活性化や産業振興など地域づくりに取り組んでいる離島住民を対象とした、島づくりリーダー養成のための短期集中型講座で平成４年度から開講しているものである。２８回目となる今年度は、「島づくり！はじめの３歩！」をテーマに、ワークショップのプログラムを通じて、参加者自らが島の情報発信の目標設定や活動の立ち上げ方などを学ぶ講座を開講した。

今年度は離島関係の９道県１４市町村から２０人が参加し、精力的にワークショップに取り組んだ。

日　時：令和元年９月１８日（水）～９月２１日（土）　３泊４日
場　所：広島県大崎上島町
主　催：公益財団法人日本離島センター
テーマ：島づくり！はじめの３歩！

参 加 者

| 都道県 | 市町村 | 島名 | 氏名 | 職業 |
|---|---|---|---|---|
| 北海道 | 利尻富士町 | 利尻島 | 佐々木　諒介 | 地方公務員 |
| 新潟県 | 佐渡市 | 佐渡島 | 長島　崇史 | 地方公務員 |
| 新潟県 | 粟島浦村 | 粟島 | 本保　慎吾 | 地方公務員 |
| 兵庫県 | 姫路市 | 家島 | 伊藤　真美 | 地域おこし協力隊 |
| 島根県 | 隠岐の島町 | 島後 | 五十嵐　杏美 | 地域おこし協力隊 |
| 広島県 | 三原市 | 佐木島 | 北野　凜央 | 地域おこし協力隊 |
| 広島県 | 三原市 | 佐木島 | 山本　枝理子 | 地域支援員 |
| 広島県 | 大崎上島町 | 大崎上島 | 太刀掛　千穂 | NPO 職員 |
| 愛媛県 | 松山市 | 興居島 | 家弓　剛吏 | 地域おこし協力隊 |
| 福岡県 | 宗像市 | 宗像大島 | 西永　哲久 | 農業 |
| 長崎県 | 対馬市 | 対馬島 | 畑島　康佑 | 自営業 |
| 長崎県 | 対馬市 | 対馬島 | 稲垣　理美 | 島おこし協働隊 |
| 長崎県 | 壱岐市 | 壱岐島 | 柴山　琢磨 | 自営業 |
| 長崎県 | 五島市 | 奈留島 | 山下　大輔 | 地方公務員 |
| 長崎県 | 五島市 | 奈留島 | 葛島　勝幸 | 大工 |
| 長崎県 | 五島市 | 久賀島 | 永松　翼 | 旧五輪教会堂教会守 |
| 長崎県 | 西海市 | 松島 | 市原　和利 | 自営業 |
| 長崎県 | 西海市 | 松島 | 内海　伸介 | 森林組合 |
| 鹿児島県 | 十島村 | 口之島 | 肥後　洋平 | 地方公務員 |
| 鹿児島県 | 十島村 | 口之島 | 日髙　司 | 漁師 |

研修日程

| | 午　　前 | 午　　後 |
|---|---|---|
| | 9:00～12:00 | 13:00～17:00 |
| 9月18日 | | ・受付・大崎上島町へ移動<br>・開講式<br>・ガイダンス・自己紹介<br>・島自慢＆事前ワーク発表<br>・ふりかえり |
| 9月19日 | ・大崎上島町視察 | ・目標達成志向の型<br>・目標設定ワーク<br>・島大使就任宣言<br>・ふりかえり |
| 9月20日 | ・２日目のふりかえり<br>・ダメ出しワーク<br>・ダメ返しワーク | ・目標達成方針ワーク<br>・はじめの３歩ワーク<br>・島への置き土産ワーク |
| 9月21日 | ・３日目のふりかえり<br>・成果発表 | ・総評<br>・修了式<br>・集合写真撮影 |

ウ．離島振興実務担当者研修（しまづくりサミット）
「しまづくりサミット２０１９」の開催。
「島をよくしようと行動する人たち」の力となることを目指し、離島に住み続けたい、住んでみたくなる島づくり実現のため、離島住民の悩みや苦労、知恵とアイデアを共有することを目的に開催した。関係市町村実務担当者はじめアイランダー出展関係者に参加を呼びかけ、１１０名の参加を得た。

当日は、①「島づくり人材養成大学」（主催：日本離島センター）による人材育成の取り組みとその成果について離島センターより報告。②研修講師による話題提供をいただき、③研修修了生より、島づくり人材養成大学を受講する前の状況、「はじめの３歩」について、その後の道のりと現在地について、３つのタメ、自己評価について等お話しいただき、④フロアとの質疑応答や意見交換などを実施した。

日　時：令和元年１１月２２日（金）１３：００～１５：００
場　所：東京・池袋サンシャインシティ文化会館５階「５０２ホール」
主　催：公益財団法人日本離島センター
テーマ：ようこそ先輩！－島おこしの担い手育成の取り組みと成果

内容
①開会・主催者挨拶
②報告（日本離島センター研修担当）
③話題提供（西原　弘氏：有限会社サステイナブル・デザイン取締役社長／島づくり人材養成大学講師）
④トークセッション
　○西原　弘氏
　○小岩直和氏（(株)おおいた姫島／島大第16期・H19）
　○清水雄太氏（(株)TOSHIMA／島大第21期・H24）
　○松本将利氏（穂門ノ郷／島大第26期・H29）
⑤フロア・ディスカッション
⑥総括
⑦閉会

エ．「しまづくりフォーラム」の開催
離島に関する有識者や研究者、各島で地域づくりに取り組む実践者からの講演や報告などを通して、島の将来像や振興策について考え、政策提言などに資することを目的に開催。離島の出身者や研究者、地域振興に関心のある方々など３３人が聴講した。

日　時：令和２年２月１４日（金）１５：３０～１７：３０
場　所：東京都千代田区「全国町村会館第１会議室」
テーマ：地中海島嶼国マルタの水産業からわが国離島の水産業を考える
講　師：鹿児島大学水産学部准教授　鳥居享司氏
内　容：１）マルタ共和国について
　　２）地中海島嶼国マルタの水産業の現状と展望～魚類養殖業を中心に～
　　３）質疑応答及び意見交換

②派遣事業

令和元年度は下記の研修会等へ講師等を派遣した。

１）「第５０回山口県離島青年会議」への講師派遣
日　　時：令和元年７月５日（金）～７日（日）
場　　所：山口県周南市・防府市
主　　催：山口県離島青年会議大津島実行委員会
派遣講師：本財団事務局長　仲田　成徳

２）「佐渡市雇用機会拡充事業補助金審査会」への職員派遣
日　　時：令和元年８月２８日（水）～３０日（金）
　　令和２年２月２５日（火）～２７日（木）
場　　所：新潟県佐渡市
主　　催：新潟県佐渡市
派遣職員：本財団事務局長　仲田　成徳

３）「三島（佐渡島・飛島・粟島）交流会」への職員派遣
日　　時：令和元年９月４日（水）～５日（木）
場　　所：新潟県粟島浦村
主　　催：新潟県粟島浦村
派遣職員：本財団総務・広報係　井口　雄大

４）「令和元年度離島振興研修会」への講師派遣
日　　時：令和元年９月１９日（木）
場　　所：北海道札幌市
主　　催：北海道離島振興協議会
派遣職員：本財団事務局長　仲田　成徳

５）講義「地域研究（離島）」への講師派遣
日　　時：令和元年１０月５日（土）・１２日（土）・１９日（土）
場　　所：長崎県立大学
主　　催：長崎県立大学
派遣講師：本財団広報・調査課長　三木　剛志

６）「与那国民俗芸能の継承に向けた調査、及び人材育成計画策定事業講演会」への講師派遣
日　　時：令和元年１２月１１日（水）～１４日（土）
場　　所：沖縄県与那国町
主　　催：一般社団法人与那国フォーラム
派遣講師：本財団広報・調査課長　三木　剛志

７）「第１４回沖縄振興審議会総合部会専門委員会」への講師派遣
日　　時：令和２年２月１７日（月）
場　　所：沖縄県那覇市
主　　催：沖縄振興審議会総合部会専門委員会
派遣講師：本財団専務理事　小島　愛之助

## （２）調査研究

①離島の実態調査等

１）離島振興法改正に向けての課題整理と対策の検討

次期離島振興に向けて、分野別に課題の抽出・整理を行い、離島振興法改正に向けて政策反映等のための検討を実施。

２）現地ヒアリング等の実施

離島の定住環境に関する現地調査・ヒアリングを鹿児島県新島で、離島の教育環境に関する現地調査ヒアリングを沖縄県久米島でそれぞれ実施した。

なお他にも数カ所予定したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

３）その他

調査研究結果を活用し、コンサルティング活動として会員市町村関係者をはじめ、メディア関係者や一般国民による問い合わせ（事務所来訪または電話、ＦＡＸなど）に、随時対応した。また、本財団ホームページ「しましまネット」を通じての問い合わせ（５５件）にも随時対応した。

相談内容は、島づくり活動などの事例や国庫補助事業の照会、離島に係る統計データや、島への移住定住や就労状況並びに離島留学実施の情報提供などであった。

②海外離島調査

令和元年度は以下の調査を実施した。

『海外離島調査（エストニア共和国）』

１）調査実施の趣旨

諸外国の離島をはじめとした地域の現地調査やヒアリングなどを通して、海外における地域づくり手法などを学び、我が国における今後の離島振興や政策提言に資するために実施した。

２）実施日程

令和元年１０月７日（月）～１４日（月）８日間

３）視察先及び主なテーマ

「エストニア共和国における離島振興の現状について」

エストニア共和国は、タリンを首都とする北欧、バルト三国の一つである。欧州連合（EU）加盟国であり、通貨はユーロ、人口は約 132 万人である。

近年ではエストニアが取り組んできた国家、政府・自治体の IT による電子化が注目をあつめるとともに、公共交通の無料化など実験的な施策を実施している。また、エストニアには 2,000 以上の島があり、その多くが小さな無人島であるが、西エストニア諸島のサーレマー島、ヒーウマー島、ムフ島といった人口千人を超える大きな有人島も存在する。欧州各国の中では先駆的に島嶼法を整備し離島振興に取り組んでいる。

本調査は、離島が有する地域資源と電子化などの先駆的な取り組みとの関係性や、観光と航路政策の結び付きといった地域振興策について調査することで、我が国の離島振興法と実施体制についての問題提起とし、同法の改正に備えるために実施した。

４）主なヒアリング先

地方公共団体：Viimsi（ヴィイムシ）郡、Saaremaa（サーレマー）郡、Hiiu（ヒーウ）郡、Muhu（ムフ）郡

海運事業者：TS Laevad（ラエヴァド）社

その他：EESTI SAARTE KOGU（エストニア島嶼協会）等

５）参加者

白川　晴司　香川県観音寺市長
宮里　　哲　沖縄県座間味村長
本田　政明　長崎県壱岐市企画振興部長
長岡　勇二　鹿児島県長島町企画財政課長
菅原　　怜　東京都神津島村産業観光課係長
小澤　　卓　日本離島センター調査係長
森田　朋有　日本離島センター調査第二係長

## （３）資料の収集整備（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）

令和元年度も、昨年度に引き続き各資料の収集整備を行った。

①資料の収集

ア．購入図書／文献　（１１冊）

| 受付日 | 図　書　・　文　献　名 | 編　・　著　者　名 | 発行所等 | 発行年月 | 判型 | 総頁 | 購入価格 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5/16 | 奥武方言 | 『奥武方言』編集委員会 | 奥武区自治会 | 2019/2 | A3 | 656 | ￥ 5,210 |
| 6/17 | 太海のあゆみ | 鴨川市教育委員会 | 同左 | 2011/2 | A4 | 124 | ￥ 700 |
| 6/28 | 真鍋島の歳時記　―真鍋島の一年の物語 | 真鍋島公民館「真鍋島の歳時記」制作委員会 | 同左 | 2019/3 | A4 | 32 | ￥ 300 |
| 9/10 | 村に立つ教育　―佐渡の僻村が挑んだ「村を育てる学びの共同体」の創造― | 知本康悟 | 本の泉社 | 2019/8 | B5 | 278 | ￥ 2,052 |
| 9/10 | 宮古島市史　第三巻　自然編第 1 部（本編）　みやこの自然 | 宮古島市史編さん委員会 | 宮古島市教育委員会 | 2019/3 | B4 | 594 | ￥ 5,000 |
| 9/18 | 幻島図鑑　不思議な島の物語 | 清水浩史 | 河出書房新社 | 2019/7 | A4 | 302 | ￥ 1,728 |
| 9/18 | 北海道厚岸町　小島の暮らし | 青地久惠 | 驢鳴洞工房 | 2019/7 | A4 | 198 | ￥ 1,944 |
| 11/13 | 与論島の山さん 薬草に捧げた人生と幸せな終末へのメッセージ | 山 悦子 | KADOKAWA | 2019/10 | B5 | 180 | ￥ 1,562 |
| 1/21 | 漁業と国境 | 濱田武士・佐々木貴文 | みすず書房 | 2020/1 | A4 | 398 | ￥ 3,960 |
| 3/23 | 全国学校総覧　2020 年版 | 全国学校データ研究所 | 原書房 | 2019/12 | B4 | 1,106 | ￥ 17,820 |
| 3/23 | 数字でみる航空　2019 | 国土交通省航空局、一般財団法人日本航空協会 | 一般財団法人日本航空協会 | 2019/10 | A5 | 392 | ￥ 1,529 |

イ．寄贈図書／文献　（１０５冊）　※寄贈者敬称略

| 受付日 | 図　書　・　文　献　名 | 編　・著 者 名 | 発 行 所 等 | 寄 贈 者 名 | 発行年月 | 判型 | 総頁 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4/1 | 平成 30 年度　新島村博物館年報 | 新島村博物館 | 同左 | 同左 | 2019/3 | A3 | 66 |
| 4/1 | 平成 30 年度　奄美群島の概況 | 鹿児島県大島支庁総務企画課 | 同左 | 同左 | 2019/3 | A3 | 452 |
| 4/1 | 新潟県立歴史博物館研究紀要　第 20 号 | 新潟県立歴史博物館 | 同左 | 池田哲夫 | 2019/3 | A3 | 208 |
| 4/3 | 宮本常一　農漁村採訪録 21　吉野西奥調査ノート | 宮本常一 | 宮本常一記念館（周防大島文化交流センター） | 宮本常一記念館（周防大島文化交流センター）　徳毛 | 2019/3 | A4 | 208 |
| 4/8 | えひめイベント BOX　2019 | 公益財団法人えひめ地域政策研究センター | 同左 | 同左 | 2019/4 | A3 | 154 |
| 4/11 | 法政地理　第 51 号　2019 年 3 月 | 法政大学地理学会 | 同左 | 同左 | 2019/3 | B4 | 108 |
| 4/15 | 沖縄文化研究 46 | 法政大学沖縄文化研究所 | 同左 | 同左 | 2019/3 | B5 | 394 |
| 4/15 | 琉球の方言 43 | 法政大学沖縄文化研究所 | 同左 | 同左 | 2019/3 | B4 | 188 |
| 4/15 | 境界研究　No.9　2019 | 岩下明裕、地田徹朗、福田宏、ジョナサン・ブル、斎藤慶子、エドワード・ボイル | 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター内境界研究ユニット | 同左 | 2019/3 | B4 | 148 |
| 4/15 | 岳人 5 月号　2019　May　No.863 | ネイチュアエンタープライズ | 同左 | モンベル | 2019/4 | B4 | 132 |
| 4/17 | 海洋白書　2019 | 公益財団法人笹川平和財団海洋政策研究所 | 同左 | 同左 | 2019/3 | A3 | 276 |

| 受付日 | 図　書　・文　献　名 | 編　・著　者　名 | 発　行　所　等 | 寄　贈　者　名 | 発行年月 | 判型 | 総頁 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4/18 | 回天記念館と人間魚雷「回天」　周南市回天記念館開館50周年記念誌 | 周南市地域振興部文化スポーツ課 | 同左 | 同左 | 2019/3 | A3 | 74 |
| 4/24 | 過疎対策の新たな対応策に関する調査研究中間とりまとめ報告書 | 全国過疎地域自立促進連盟 | 同左 | 同左 | 2019/3 | A3 | 226 |
| 4/25 | フィールドへようこそ！　2017　角館の民俗　秋田県仙北市角館町角館地区 | 筑波大学民俗学研究室 | 同左 | 同左 | 2019/2 | A3 | 156 |
| 5/7 | 十島村の謎 | 岩下勝美 | 同左 | 同左 | 2018/12 | A4 | 222 |
| 5/13 | 岳人6月号　2019　June　No.864 | ネイチュアエンタープライズ | 同左 | モンベル | 2019/5 | B4 | 132 |
| 5/10 | 平成30年度　老人保健事業推進費等補助金　老人保健健康増進等事業　離島等における介護サービスの提供状況の実態把握及び推進方策に関する調査研究　報告書 | 公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会 | 同左 | 厚生労働省　石田 | 2019/3 | A3 | 288 |
| 5/10 | 島嶼学　Nissology | 嘉数　啓 | 古今書院 | 同左 | 2019/2 | A4 | 348 |
| 5/14 | 渡海船物語　それは島民の生活の支えだった。 | 吉村信男 | 同左 | 同左 | 2013/7 | B4 | 8 |
| 5/14 | 赤灯台のうた（今治・唐子浜） | 吉村信男 | 同左 | 同左 | 2019/4 | B4 | 4 |
| 5/16 | 平成30年度　富山県委託業務　NEARプロジェクト海辺の漂着物調査報告書　2018年度　概要版 | 公益財団法人環日本海環境協力センター | 同左 | 同左 | 2019/ | A3 | 8 |
| 5/16 | 平成30年度　富山県委託業務　NEARプロジェクト海辺の漂着物調査報告書　2018年度 | 公益財団法人環日本海環境協力センター | 同左 | 同左 | 2019/ | A3 | 126 |
| 5/17 | 奄美群島の　12集落の宝もの　残したいもの　伝えたいもの | 奄美群島広域事務組合 | 同左 | 海津ゆりえ | 2019/3 | その他 | 72 |
| 5/17 | 地球環境研究　第21号 | 立正大学地球環境科学部・大学院地球環境科学研究科・環境科学研究所 | 同左 | 同左 | 2019/3 | A3 | 208 |
| 5/23 | 離島に住む人々の医療福祉と健康　学内活動報告　順天堂大学保健看護学部　順天堂保健看護研究7　P.100-103（2019） | 石川香帆、土屋久、土屋陽子、栗原明美 | 順天堂大学保健看護学部 | 土屋久 | 2019/ | A3 | 8 |
| 5/27 | 地域研究　第59巻（通巻103号）　2019-3 | 立正地理学会 | 同左 | 同左 | 2019/3 | B4 | 60 |
| 5/29 | 神峰山 | 穂高健一 | 未知谷 | 長谷川尚道 | 2018/10 | A4 | 286 |
| 5/29 | 伊豆大島文学・紀行集　紀行記編 | 東京都大島町 | 同左 | 藤井虎雄 | 2019/3 | A4 | 916 |
| 6/3 | 統計ふくやま　2018（平成30年）版 | 福山市総務局総務部情報管理課 | 同左 | 同左 | 2019/3 | A3 | 290 |
| 6/13 | 地域研究年報　41　2019 | 筑波大学人文地理学・地誌学研究会 | 同左 | 同左 | 2019/2 | B4 | 204 |
| 6/13 | 離島関係資料　平成31年1月 | 沖縄県企画部地域・離島課 | 同左 | 同左 | 2019/1 | A3 | 288 |
| 6/13 | 我國海運客運営運發展及奬補助機制之策進研析期末報告（修正二版） | 台湾　交通部航港局 | 同左 | 台湾　義守大學　江育真教授 | 2018/4 | A3 | 350 |
| 6/13 | 我國海運客運営運發展及奬補助機制之策進研析期末報告（修正二版）　＜附件＞ | 台湾　交通部航港局 | 同左 | 台湾　義守大學　江育真教授 | 2018/4 | A3 | 410 |
| 6/14 | 岳人7月号　2019　July　No.865 | ネイチュアエンタープライズ | 同左 | モンベル | 2019/6 | B4 | 132 |
| 6/26 | 平成29年度　全国簡易水道統計　（平成29年4月1日～平成30年3月31日） | 全国簡易水道協議会 | 同左 | 同左 | 2019/5 | A3 | 192 |
| 6/28 | 離島振興事業の概要　（平成25～29年度） | 鹿児島県企画部離島振興課 | 同左 | 同左 | 2019/3 | A3 | 298 |
| 7/1 | 日本海文化研究所報告　第一集 | 日本海文化研究所 | 同左 | 池田哲夫 | 2019/7 | A4 | 156 |
| 7/2 | 平成30年度　島内外ネットワーク構築支援調査報告書 | 国土交通省国土政策局離島振興課 | 同左 | 同左 | 2019/3 | A3 | 256 |
| 7/5 | 小笠原研究年報　42 | 首都大学東京小笠原研究委員会 | 同左 | 同左 | 2019/7 | B4 | 116 |

| 受付日 | 図　書　・文　献　名 | 編　・著 者 名 | 発 行 所 等 | 寄 贈 者 名 | 発行年月 | 判型 | 総頁 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 7/5 | 小笠原研究　No.45　FY　2018（issued in July 2019） | 首都大学東京小笠原研究委員会 | 同左 | 同左 | 2019/7 | B4 | 58 |
| 7/12 | 素晴らしい故郷へ行こう | 山田清史 | 近代文藝社 | 山田清史 | 2015/10 | B5 | 430 |
| 7/12 | 岳人 8 月号　2019　August　No.866 | ネイチュアエンタープライズ | 同左 | モンベル | 2019/7 | B4 | 132 |
| 7/12 | 初めてのひとり旅 | 松鳥むう | 枻出版社 | 松鳥むう | 2019/7 | A4 | 116 |
| 7/29 | 「伊仙町生活構造分析調査」報告書Ⅰ　（2016～18 年度科学研究費補助金基礎研究（B）研究成果報告書） | 高野和良 | 九州大学大学院人間環境学研究院 | 高野和良 | 2019/3 | A3 | 186 |
| 8/5 | 小笠原　特集第 64 号　小笠原ガイド | 公益財団法人小笠原協会 | 同左 | 同左 | 2019/7 | B4 | 100 |
| 8/5 | 十島村誌　追録版 | 十島村誌追録版編集委員会 | 十島村 | 同左 | 2019/3 | B4 | 1,018 |
| 8/7 | 水道事業実務必携＜令和元年度改訂版＞　第 1 部　水道施設整備費に係る交付要綱　第 2 部　水道施設整備費に係る歩掛表 | 全国簡易水道協議会 | 同左 | 同左 | 2019/8 | A3 | 946 |
| 8/13 | 立命館産業社会論集　2019 年 6 月　第 55 巻第 1 号（通巻 181 号） | 立命館大学産業社会学会 | 同左 | 同左 | 2019/6 | B4 | 352 |
| 8/14 | 岳人 9 月号　2019　September　No.867 | ネイチュアエンタープライズ | 同左 | モンベル | 2019/8 | B4 | 132 |
| 8/30 | 隠岐の島の島民 3000 余名による　優しい革命　隠岐騒動 | 岩田廉太郎、寺西竜也、150 隠岐維新を次世代に伝える会 | 150 隠岐維新を次世代に伝える会 | 同左 | 2019/3 | その他 | 16 |
| 8/30 | 日本ネシア論　別冊環 25 | 藤原書店 | 同左 | 同左 | 2019/6 | A4 | 488 |
| 9/10 | 八丈島の古文書集　第二集　「八丈島の古文書を読む会」編 | 八丈島の古文書を読む会 | 同左 | 三木剛志 | 2018/10 | B4 | 180 |
| 9/10 | 地獄島とロシア水兵　椋鳩十全集 26 | 椋鳩十 | 鳥越信、大藤幹夫 | 加藤庸二 | | A4 | 112 |
| 9/10 | 国立ハンセン病資料館ブックレット 4　橋を渡る　邑久長島大橋架橋 30 周年記念 | 国立ハンセン病資料館 | 同左 | 同左 | 2018/11 | A4 | 158 |
| 9/12 | 日本離島研究会 35 周年記念誌　島の絵 | 日本離島研究会 | 同左 | 同左 | 2018/8 | A3 | 78 |
| 9/17 | 岳人 10 月号　2019　October　No.868 | ネイチュアエンタープライズ | 同左 | モンベル | 2019/9 | B4 | 132 |
| 9/18 | 南風に吹かれて　「釧路」より「八重山」の島々へ | 青地久惠 | 星雲社 | 青地久惠 | 1998/9 | A4 | 282 |
| 9/18 | シニアのための島旅入門 | 斎藤潤 | 産業編集センター | 斎藤潤 | 2019/7 | B5 | 382 |
| 9/27 | 調査報告 2019-1　新たな漁業・水産業に関する制度・システムの具体像を示せ　～漁業・水産業の成長と活力を取り戻すために～　第 2 次水産業改革委員会　最終報告（提言） | 一般社団法人日本経済調査協議会 | 同左 | 小松正之 | 2019/5 | A3 | 66 |
| 9/30 | 人と海洋の共生をめざして　150 人のオピニオンⅨ | 公益財団法人笹川平和財団海洋政策研究所 | 同左 | 同左 | 2019/9 | B4 | 410 |
| 9/30 | 調査研究論文集　No.28 | 一般財団法人漁港漁場漁村総合研究所 | 同左 | 同左 | 2018/12 | A3 | 76 |
| 10/4 | 地域と教育　第 18 号　―鹿児島県鹿児島郡三島村硫黄島―　筑波大学博士課程人間総合科学研究科教育学専攻「社会科教育学特講」調査報告 | 井田仁康（筑波大学人間系教授） | 同左 | 同左 | 2019/9 | B4 | 90 |
| 10/14 | 岳人 11 月号　2019　November　No.869 | ネイチュアエンタープライズ | 同左 | モンベル | 2019/10 | B4 | 132 |
| 10/15 | 平成 28 年度　大島郡民所得推計報告書 | 鹿児島県企画部統計課企画分析係 | 同左 | 同左 | 2019/10 | A3 | 88 |
| 11/8 | 平成 28 年度　市町村民所得推計報告書 | 鹿児島県統計協会 | 同左 | 同左 | 2019/11 | A3 | 120 |
| 11/13 | 平成 28 年度　内閣官房委託調査　竹島に関する資料調査報告書 | ストリームグラフ　内閣官房領土・主権対策企画調整室 | 同左 | 内閣官房領土・主権対策企画調整室 | 2017/3 | A3 | 32 |

| 受付日 | 図　書　・文　献　名 | 編　・著 者 名 | 発 行 所 等 | 寄 贈 者 名 | 発行年月 | 判型 | 総頁 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 11/13 | 平成 29 年度　内閣官房委託調査　竹島に関する資料調査報告書 | ストリームグラフ　内閣官房領土・主権対策企画調整室 | 同左 | 内閣官房領土・主権対策企画調整室 | 2018/3 | A3 | 52 |
| 11/13 | 平成 30 年度　内閣官房委託調査　竹島に関する資料調査報告書 | ストリームグラフ　内閣官房領土・主権対策企画調整室 | 同左 | 内閣官房領土・主権対策企画調整室 | 2019/3 | A3 | 28 |
| 11/13 | 平成 28 年度　内閣官房委託調査　尖閣諸島に関する資料調査報告書 | ストリームグラフ　内閣官房領土・主権対策企画調整室 | 同左 | 内閣官房領土・主権対策企画調整室 | 2017/3 | A3 | 44 |
| 11/13 | 平成 29 年度　内閣官房委託調査　尖閣諸島に関する資料調査報告書 | ストリームグラフ　内閣官房領土・主権対策企画調整室 | 同左 | 内閣官房領土・主権対策企画調整室 | 2018/3 | A3 | 44 |
| 11/13 | 平成 30 年度　内閣官房委託調査　尖閣諸島に関する資料調査報告書 | ストリームグラフ　内閣官房領土・主権対策企画調整室 | 同左 | 内閣官房領土・主権対策企画調整室 | 2019/3 | A3 | 32 |
| 11/14 | 一般社団法人全日本ノルディック・ウォーク連盟　創立 10 周年記念誌 | 一般社団法人全日本ノルディック・ウォーク連盟 | 同左 | 同左 | 2019/10 | A3 | 64 |
| 12/3 | 伊勢民俗㊽　09/2019 | 伊勢民俗学会 | 同左 | 川口祐二 | 2019/9 | A5 | 68 |
| 12/5 | 簡易水道等小規模水道における水道施設台帳作成の手引き | 全国簡易水道協議会 | 同左 | 同左 | 2019/11 | A3 | 62 |
| 12/5 | 立命館産業社会論集　2019 年 9 月　第 55 巻第 2 号（通巻 182 号） | 立命館大学産業社会学会 | 同左 | 同左 | 2019/9 | B4 | 148 |
| 12/9 | 島しょ保健所事業概要　令和元年度版 | 東京都島しょ保健所 | 同左 | 同左 | 2019/11 | A3 | 118 |
| 12/10 | 公益財団法人　福武財団　アニュアルレポート 2019 | 公益財団法人福武財団 | 同左 | 同左 | 2019/11 | A3 | 52 |
| 12/10 | 長崎五島　しま山　登山・トレッキングガイドブック | 長崎県五島市地域振興部観光物産課 | 同左 | 同左 | 2019/ | A4 | 64 |
| 12/15 | 岳人 1 月号　2020　January　No.871 | ネイチュアエンタープライズ | 同左 | モンベル | 2019/12 | B4 | 132 |
| 12/16 | 自治医科大学医学部卒業生の現状　令和元年 7 月 1 日現在 | 自治医科大学地域医療推進課 | 同左 | 同左 | 2019/12 | A3 | 34 |
| 12/18 | 与那国　マチリと祭場　ハンドブック | 与那国町教育委員会 | 同左 | 同左 | 2011/3 | A5 | 110 |
| 12/27 | 統計要覧　（2020 年版） | 日本政策投資銀行 | 同左 | 同左 | 2019/12 | A5 | 532 |
| 1/6 | 史境　第七十七・七十八号 | 歴史人類学会 | 同左 | 同左 | 2019/9 | A4 | 176 |
| 1/14 | 平成 30 年度版　過疎対策の現況 | 総務省地域力創造グループ過疎対策室 | 同左 | 同左 | 2019/12 | A3 | 308 |
| 1/14 | 岳人 2 月号　2020　February　No.872 | ネイチュアエンタープライズ | 同左 | モンベル | 2020/1 | B4 | 132 |
| 1/28 | 平成 30 年度「地域 IoT 実装推進事業」　「奄美大島の魅力を地元の小学生が発信するプログラミング教育」報告書 | 鹿児島県瀬戸内町 | 同左 | 同左 | 2019/2 | A3 | 52 |
| 1/31 | US-2　救難飛行艇開発物語③ | 月島冬二 | 小学館 | 新明和工業株式会社　川西康夫 | 2020/2 | A4 | 216 |
| 2/14 | 歴史人類　第 48 号 | 筑波大学大学院人文社会科学研究科歴史・人類学専攻 | 同左 | 同左 | 2020/3 | B4 | 122 |
| 2/21 | 立命館産業社会論集　2019 年 12 月　第 55 号第 3 号（通巻 183 号） | 立命館大学産業社会学会 | 同左 | 同左 | 2019/12 | B4 | 130 |
| 2/25 | 利尻研究　利尻町立博物館年報　第 39 号 | 利尻町立博物館 | 同左 | 同左 | 2020/3 | B4 | 116 |
| 2/26 | 島のてっぺんから日本の今が見える　シマ好きバンカーの島学こと始め | 小池光一 | 鉱脈社 | 小池光一 | 2019/12 | A4 | 254 |
| 2/28 | 奄美大島の地域性 17　―地域文化調査法・地域調査入門　野外調査報告書― | 駒澤大学地理学科須山研究室 | 同左 | 須山聡 | 2020/1 | B4 | 164 |
| 3/5 | 海洋と生物　AQUABIOLOGY　No.246（第 42 巻第 1 号） | 生物研究社 | 同左 | 水土舎　乾政秀 | 2020/2 | B4 | 116 |

| 受付日 | 図　書　・文　献　名 | 編　・著 者 名 | 発 行 所 等 | 寄 贈 者 名 | 発行年月 | 判型 | 総頁 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3/5 | 与那国島の「祭事芸能」をうけつぐBOOK　与那国民俗芸能人材育成計画書（ご提案）　平成31年度沖縄文化芸術を支える環境形成推進事業 | 一般社団法人与那国フォーラム | 同左 | 同左 | 2020/2 | B4 | 28 |
| 3/5 | 与那国民俗芸能の継承に向けた調査及び人材育成計画策定事業報告書　平成31年度沖縄文化芸術を支える環境形成推進事業 | 一般社団法人与那国フォーラム | 同左 | 同左 | 2020/2 | A3 | 152 |
| 3/5 | 海とヒトの関係学3　海はだれのものか | 秋道智彌、角南篤 | 西日本出版社 | 公益財団法人笹川平和財団海洋政策研究所長　角南篤 | 2020/3 | A4 | 252 |
| 3/6 | 潮路の譜　小林惠写真集 | 小林惠 | 同左 | 同左 | 2020/3 | その他 | 108 |
| 3/12 | 月刊　漁業と漁協　第57巻第2号（通巻660号） | 漁協経営センター出版部 | 同左 | 川口祐二 | 2020/2 | B4 | 44 |
| 3/12 | 利尻町開基120周年　北海道命名150年　上皇上皇后両陛下　利尻島行幸啓　利尻海藻押し葉作品献上記念利尻海藻押し葉押し花作品集 | 特定非営利活動法人利尻ふる里島づくりセンター | 同左 | 同左 | 2020/1 | B4 | 94 |
| 3/19 | タコとミカンの島　瀬戸内の島で暮らした夫婦の話 | 倉掛喜八郎 | シーズ・プランニング | 豊田渉 | 2020/3 | A4 | 186 |
| 3/23 | 立命館産業社会論集　2020年3月　第55号第4号（通巻184号） | 立命館大学産業社会学会 | 同左 | 同左 | 2020/3 | B4 | 98 |
| 3/23 | 調査研究論文集　No.29 | 一般財団法人漁港漁場漁村総合研究所 | 同左 | 同左 | 2019/12 | A3 | 76 |
| 3/24 | 海岸統計　令和元年度版 | 国土交通省水管理・国土保全局海岸室 | 同左 | 同左 | 2020/3 | A3 | 232 |
| 3/26 | 地方創生シリーズ　明るい逆参勤交代が日本を変える働き方改革と地方創生の同時実現 | 松田智生 | 事業構想大学院大学出版部 | 松田智生 | 2020/3 | A4 | 222 |
| 3/30 | 法政地理　第52号　2020年3月 | 法政大学地理学会 | 同左 | 同左 | 2020/3 | B4 | 140 |
| 3/31 | 漁港港勢の概要　平成29年 | 水産庁漁港漁場整備部計画課 | 同左 | 同左 | 2020/3 | A3 | 374 |

ウ．購入CD・DVD

令和元年度は購入実績なし。

エ．寄贈CD・DVD（１部）

| 受付日 | ビデオ・CD-ROM | 製作者等 | 発行所等 | 寄贈者名 | 制作年月 |
|---|---|---|---|---|---|
| 3/31 | 漁港港勢　平成元年～29年　CD-ROM | 水産庁漁港漁場整備部計画課 | 同左 | 同左 | 2020/3 |

②資料等の電子データ化

本事業は、本財団が保有する離島に関する新聞記事情報（全国紙・地方紙）をよりスピーディーに、正確に情報検索し、それを活用することを目的に実施したものである。

令和元年度は、システムに１７４コマの新聞記事情報を入力し活用した。

**（４）広報宣伝**

①資料及び図書の作成・刊行

ア．『離島統計年報』の刊行

離島振興法をはじめ全国の法指定離島の基本的な統計資料を体系的に収録した『２０１７離島統計年報』CD-ROM版及び『２０１８離島統計年報』CD-ROM版を刊行した。

１）規格及び部数 CD-ROM Windows版（PDF及びEXCELファイルを収録） 各500枚

２）内 容

①図表で見る島の動き ②概要 ③人口動態 ④教育 ⑤農林水産業生産額
⑥観光・自然公園 ⑦道路・車両 ⑧港湾・航路 ⑨空港・航空路 ⑩医療 ⑪水道
⑫廃棄物・下水処理

イ．広報誌『しま』の刊行

令和元年度は第258号～261号を刊行した。

規格：A5判　発行部数：各3,000部

▼『しま』258号（140頁）
＜グラビア＞諸人集いし神の島（東京都神津島）
＜TOPICS＞改正奄美・小笠原特措法施行／福武財団2020年度助成活動公募のお知らせ／鳥羽・志摩「海女」、備讃諸島「石の島」が日本遺産認定
＜コラム＞離島関係志落穂稿 その６
＜特集＞島を元気にする組織・Ⅲ
①佐渡島（新潟県佐渡市）／②隠岐諸島（島根県隠岐の島町ほか）／③忽那諸島（愛媛県松山市）／④黒島（長崎県佐世保市）／⑤屋久島（鹿児島県屋久島町）
＜短期連載＞有人国境離島法にもとづく施策の現況⑤（鹿児島県西之表市）
＜論考＞フランスの海外島嶼地域における振興施策（前篇）
＜寄稿＞気仙沼大島大橋――開通に至る経緯と今後の課題／備後灘の潮風に誘われて――岩城島から魚島へ
＜連載＞写真の向こう側／小さな島の小さな取り組み（沖縄県座間味島）／全推連会員の活動紹介／島の精神文化誌（北海道小島　前篇）／宮本常一写真を読む（東京都青ヶ島　後篇）／瀬戸内海の今を歩く（広島県長島・契島・生野島）
＜報告＞海外離島現地調査報告　イタリア共和国・エオリア諸島（後篇）
＜事業＞令和元年度全離島通常総会を長崎県五島市で開催
＜映画評＞『僕に、会いたかった』
＜書評＞嘉数啓著『島嶼学――Nissology』
▼『しま』259号（140頁）
＜グラビア＞コンブに囲まれる宝の島（北海道小島）
＜TOPICS＞離島活性化交付金の概要と事例紹介
＜コラム＞離島関係志落穂稿　その７
＜特集＞島を元気にする組織・Ⅳ
①利島（東京都利島村）／②大崎上島（広島県大崎上島町）／③大津島（山口県周南市）／④度島（長崎県平戸市）
＜短期連載＞有人国境離島法にもとづく施策の現況⑥（長崎県壱岐市）
＜論考＞フランスの海外島嶼地域における振興施策（後篇）
＜寄稿＞島を心のふるさとに―「生きる喜びミッション」で看護学生に講演／八丈島の多様な文化を感じさせる里芋の話（前篇）
＜連載＞写真の向こう側／小さな島の小さな取り組み（広島県大崎上島）／全推連会員の活動紹介／島の精神文化誌（北海道小島　後篇）／宮本常一写真を読む（東京都神津島　前篇）／瀬戸内海の今を歩く（山口県浮島・笠佐島）
＜事業＞国土交通大臣杯「第12回全国離島交流中学生野球大会」開催
＜映画評＞『夕陽のあと』
＜書評＞池上大祐・杉村泰彦・藤田陽子・本村　真編『島嶼地域科学という挑戦』／石原　俊著『硫黄島―国策に翻弄された130年』
▼『しま』260号（140頁）

＜グラビア＞五島灘の秘島（長崎県平島・江島・松島）
＜TOPICS＞令和2年度「離島人材育成基金助成事業」の募集を開始
＜コラム＞離島関係志落穂稿　その８
＜特集＞島を元気にする組織・Ⅴ
①飛島（山形県酒田市）／②周防大島（山口県周防大島町）／③小豆島・豊島（香川県小豆島町・土庄町）／④壱岐島（長崎県壱岐市）／⑤奄美大島（鹿児島県龍郷町）
＜短期連載＞有人国境離島法にもとづく施策の現況⑦（鹿児島県薩摩川内市）
＜論考＞イタリアの地方自治制度と小規模島嶼発展のための枠組法案
＜寄稿＞八丈島の多様な文化を感じさせる里芋の話（後篇）／映画『今日も嫌がらせ弁当』で島の魅力を発信
＜連載＞写真の向こう側／小さな島の小さな取り組み（愛媛県魚島）／島の精神文化誌（長崎県平島）／全推連会員の活動紹介／宮本常一写真を読む（東京都神津島　後篇）／瀬戸内海の今を歩く（香川県小豆島）
＜事業＞「しまづくりキャラバン」／「しまづくりサミット2019」／「第28期　島づくり人材養成大学」
＜書評＞平野秀樹著『日本はすでに侵略されている』／山　悦子著『与論島の山さん―薬草に捧げた人生と幸せな終末へのメッセージ』
▼『しま』261号（140頁）
＜グラビア＞追憶の海郷
＜TOPICS＞「人口急減地域特定地域づくり推進法」公布／日本損害保険協会消防資機材７台を全国の離島へ寄贈
＜コラム＞離島関係志落穂稿　その９
＜報告＞錦江湾の島が六年ぶりに再有人化（鹿児島県新島）／海外離島現地調査報告　エストニアの島々（前篇）
＜短報＞離島百貨店――島の連携で〈関係人口〉を創出
＜特集＞島を元気にする組織・Ⅵ
①島後（島根県隠岐の島町）／②笠岡諸島（岡山県笠岡市）／③長島ほか（鹿児島県長島町）／④硫黄島（鹿児島県三島村）／⑤宝島（鹿児島県十島村）
＜短期連載＞有人国境離島法にもとづく施策の現況⑧（島根県隠岐の島町）
＜論考＞アートの島でひらく未来
＜連載＞写真の向こう側／小さな島の小さな取り組み（長崎県日島）／全推連会員の活動紹介／島の精神文化誌（長崎県江島）／宮本常一写真を読む（熊本県天草諸島）／瀬戸内海の今を歩く（兵庫県西島・男鹿島）
＜事業＞「アイランダー2019」／「しまづくりフォーラム」
＜映画評＞ドキュメンタリー映画　『島にて』
＜書評＞濱田武士・佐々木貴文 著『漁業と国境』
＜資料＞令和２年度離島振興関係国家予算政府原案

ウ．日本の島ガイド『ＳＨＩＭＡＤＡＳ（シマダス）』改訂版の刊行
　日本全国の有人島をはじめ約1,750の島々の各種情報を掲載した同書を編集・刊行した。人口や面積などの基礎データ、交通、観光、生活、ひと、島おこし事業などの情報を収録している。
　　書名：新版　日本の島ガイド『ＳＨＩＭＡＤＡＳ（シマダス）』
　　体裁：Ａ５版変型　１，７１２ページ　本文・地図２色刷
　　カラー口絵３２ページ　索引図４８ページ
　　発行：令和元年10月１日　第１刷発行
　　令和元年11月22日　第２刷発行

②「アイランダー２０１９」への開催協力

国土交通省と共催で、離島の交流推進支援調査事業の一環として、「アイランダー２０１９」を次のとおり実施した。

１）日時：令和元年１１月２３日（土）～２４日（日）
２）場所：東京・池袋サンシャインシティ文化会館３階展示ホールＣ
３）内容：
○島の情報発信ブース「アイランダーブース」
次頁のとおり、２２都道県から７９ブース（約１９０島）が出展
・移住・定住相談、観光ＰＲ
島の担当者と来場者のコミュニティ・スペース。島での各種体験プログラムや離島留学制度の紹介、職や住まいなどさまざまな情報の提供・相談を実施
・伝統工芸体験／ワークショップ
島の伝統工芸の体験
・物産品販売（アイランダーマーケット）
島の産品などの直販
○島の特色を表現する「アイランダーステージ」
島唄、舞踊、楽器演奏などのライブはもとより、島のＰＲ・パフォーマンスなど出展者の創意工夫で島々の魅力を伝えるとともに、トークセッションなど移住・定住・交流促進に資するプログラムを展開
○島の最新情報を提供する「情報提供コーナー」
・島の情報提供コーナー
島での就業体験や自然体験などのメニュー、島で暮らすための住まいなどの情報提供
・島外協力ブース
島に関わるメディア・団体などによる情報提供。４団体が出展
・総合情報コーナー
島々に関する情報などを総合的に提供するコーナー
・その他
「島のグルメ食堂」で島弁当販売を実施したほか、アンケートに回答いただいた来場者向けの「島のお土産プレゼントコーナー」を設置
４）来場者数　　約１１，０００人

アイランダー２０１９出展ブース一覧

| 都道県 | ブース名 |
|---|---|
| 北海道 | 礼文島／利尻島（利尻町）／利尻島（利尻富士町）／天売島・焼尻島／奥尻島 |
| 宮城県 | みやぎの離島 |
| 山形県 | 飛島 |
| 東京都 | 伊豆大島／利島／新島・式根島／神津島／三宅島／御蔵島／八丈島／青ヶ島／小笠原諸島 |
| 新潟県 | 粟島／佐渡島 |
| 石川県 | 舳倉島 |
| 愛知県 | 佐久島／日間賀島／篠島 |
| 三重県 | 鳥羽諸島／志摩諸島 |
| 滋賀県 | 沖島 |
| 兵庫県 | 淡路島・沼島／家島諸島（姫路市） |
| 島根県 | 隠岐諸島（島後）／隠岐諸島（中ノ島）／隠岐諸島（西ノ島）／隠岐諸島（知夫里島） |
| 岡山県 | 笠岡諸島 |
| 広島県 | 佐木島・小佐木島／大崎上島／江田島・能美島 |
| 山口県 | 周防大島諸島／平郡島／大津島／萩諸島 |
| 徳島県 | 伊島／出羽島 |
| 香川県 | 小豆島（小豆島町）／小豆島・小豊島・沖之島（土庄町）／豊島／直島／塩飽諸島（丸亀市）／佐柳島・高見島／伊吹島 |
| 愛媛県 | 上島諸島・魚島群島／関前諸島（今治市）／忽那諸島（松山市）／八幡浜大島／九島 |
| 佐賀県 | 玄海諸島（唐津市） |
| 長崎県 | 対馬島／壱岐島／宇久島／黒島／小値賀諸島／五島列島（五島市）／松島・江島・平島・田島／池島 |
| 大分県 | 大分県の島々 |
| 鹿児島県 | 長島・伊唐島・諸浦島・獅子島／甑島列島／種子島・屋久島／口永良部島／竹島・硫黄島・黒島／トカラ列島／奄美群島 |
| 沖縄県 | 伊是名島／伊江島／粟国島／渡嘉敷島／久米島／南大東島／北大東島／多良間島／石垣島 |

③各種離島ＰＲ活動

ア．「しまづくりキャラバン」の開催

令和元年度は「しまづくりキャラバン」を次のとおり福岡で実施した。

１．しまづくりキャラバン 2019in 大阪（ファベックス関西）

１）日時　令和元年１０月１６日（水）～１８日（金）

２）場所　大阪府大阪市　インテックス大阪

３）出展団体

新潟県佐渡市　「キンちゃん本舗株式会社」
香川県小豆島町　「小豆島調理食品工業協同組合」
愛媛県今治市　「株式会社みかんの島」
長崎県新上五島町　「有川町漁業協同組合」
「五島手延うどん協同組合」
同　五島市　「一般社団法人　五島市物産振興協会」
大分県姫島村　「（株）おおいた姫島」
鹿児島県西之表市　「（株）ＨＯＰＥ」

４）内容

島の特産品、物産品などのさらなる販路拡大を目的に、しまづくりキャラバンとして初めてファベックス関西に出展した。関西最大の業務用〈食の総合見本市〉で、同時開催の「地域食品ブランドフェア」には地方の隠れた逸品を目当てに、各業界から有力バイヤーが集まった。本イベントには有力バイヤーも誘致され、多様な島の物産品をＰＲする好機となった。

５）来場者数　３９，７２４人（ファベックス関西 2019 全体）

イ．離島の観光・物産等振興宣伝活動への助成

離島産業の活性化のため、本土・都市部のイベントや展示会等に離島住民・団体自ら出展・実施する観光振興・物産振興などの宣伝活動に対し助成事業等を実施する。

令和元年度は以下の事業に助成した。

| 都道県 | 市町村 | 事　業 | 事　業　主　体 |
|---|---|---|---|
| 新潟県 | 粟島浦村 | ひがし日本離島フェア | 粟島観光協会 |
| 愛知県 | 南知多町 | 日間賀島観光協会青年部による観光キャラバン | 日間賀島観光協会青年部 |
| 広島県 | 三原市 | 佐木島物産振興活動事業 | 元気さぎしま物産部会 |
| 山口県 | 萩市 | 萩・ふるさとまつり | 見島島おこし会<br>相島島おこし会<br>萩大島青年部 |
| 香川県 | 丸亀市 | かがわ島フェスタ２０１９ | 青木石材協同組合 |
| 長崎県 | 佐世保市 | 宇久島観光・物産振興活動事業 | 宇久島ぎばるっ隊 |
| 鹿児島県 | 知名町 | 南三島フェア | おきのえらぶ島観光協会 |
| 合　計 | | ７県　７市町村　７事業 | |

ウ．離島の果たす国家的・国民的役割のＰＲ事業

日本の島全図『Ｓｈｉｍａ－ｚｕ』の改訂版の編集を行っている。

また、令和元年度は、離島に対する国民的理解を深めるため、次の事業に対し支援・後援した。

① 第２６期「緑のふるさと協力隊」事業
主　催：特定非営利活動法人　地球緑化センター
月　日：平成３１年４月１日（月）～令和２年２月３１日（火）※活動期間

② 第１２回粟島クリーンアップ作戦
主　催：粟島クリーンアップ作戦実行委員会
月　日：令和元年６月１６日（日）
場　所：新潟県粟島浦村

③ 国土交通大臣杯第１２回全国離島交流中学生野球大会
主　催：国土交通大臣杯第１２回全国離島交流中学生野球大会実行委員会
月　日：令和元年８月１９日（月）～２３日（金）
場　所：長崎県対馬市

④ 五島海のシルクロード芸術祭
主　催：特定非営利活動法人 BaRaKa
月　日：令和元年１０月１日（火）～１１月３０日（土）
場　所：長崎県新上五島町・五島市

⑤ 第１３回トカラ列島島めぐりマラソン大会
主　催：鹿児島県十島村
月　日：令和元年１０月４日（金）～６日（日）
場　所：鹿児島県十島村

⑥ Reborn こころのふるさとフォーラム２０２０
主　催：日本青年協議会、一般財団法人日本青年会館
「Reborn こころのふるさとフォーラム２０２０」実行委員会
月　日：令和２年２月８日（土）
場　所：山口県山口市

## （５）情報化推進

①離島データバンク事業の実施

離島振興に必要であるとして収集した文献・統計等を系統的に整理し、内外のニーズに即応して、提供する「離島データバンク」を前年度に引き続き整備・運営した。

②Ｗｅｂによる情報提供

本財団Ｗｅｂサイト「しましまネット」を、公益財団法人にふさわしい離島の情報発信ツールとするとともに、幅広いリンクを通じて地域間の交流促進に寄与する運用を行った。合わせてフェイスブックによる情報発信を実施した。

「しましまネット」による主な情報発信は以下のとおり。

１）「島からのお知らせ―情報発信・情報検索―」

会員市町村から情報提供のあったイベント、求人、移住・留学情報等を一覧、検索することができる。

２）刊行物の情報を更新

①季刊『しま』の最新号及びバックナンバー

②新版 日本の島ガイド『ＳＨＩＭＡＤＡＳ（シマダス）』

３）会員市町村専用ページのコンテンツ

①情報提供入力フォーム

会員市町村が直接「しましまネット」へ「イベント、求人、移住・留学情報」等を掲載することができる。

②各種名簿

③行事カレンダー

④「離島情報」

４）公益法人情報公開規程に即した公告を掲載

### （６）人材育成

離島住民の自主的な住民活動を支援し、新しい活力ある離島の実現に必要な人材の育成を図ることを目的として設置した「離島人材育成基金」の運用益による助成事業等を実施するもの。

令和元年度は１５事業に助成を行った。

（本体型事業）

| 都道県 | 市町村 | 事業名 | 事業主体 |
|---|---|---|---|
| 新潟県 | 佐渡市 | 菅笠の里づくり | 「菅笠の里づくり」実行委員会 |
| 兵庫県 | 姫路市 | 実践型地域づくり若者リーダー育成事業 | 家島ふるさとづくり協議会 |
| 島根県 | 隠岐の島町 | 若手シーカヤックガイド養成事業 | 一般社団法人隠岐ジオパークツアーデスク |
| 香川県 | 土庄町 | 小離島に移住した医療福祉系専門職能と子育て世帯が地域福祉に与するためのインフォーマルな人材育成・交流促進事業 | はぐはぐ◉てしま |
| 長崎県 | 五島市 | 神社巡りガイドブックに向けた五島の神社にまつわる神事のリサーチ | 特定非営利活動法人BaRaKa |
| 長崎県 | 五島市 | ジオ的視点による文化財等の価値見直し事業 | 五島自然塾 |
| 長崎県 | 長崎市 | 音楽と映像を活用した交流促進事業 | RAINBOW MUSIC |
| 鹿児島県 | 南種子町 | 地域資源活用人材育成事業「種子島大学」 | 種子島大学実行委員会 |
| 鹿児島県 | 屋久島町 | 奄美・屋久島まち歩き連携事業 | 屋久島里めぐり推進協議会 |
| 合計 | | ６県　８市町　９事業 | |

（知的支援型事業）

| 都道県 | 市町村 | 事業名 | 事業主体 |
|---|---|---|---|
| 新潟県 | 佐渡市 | 『私たちの郷土　新穂村』復刻事業 | 個人 |
| 岡山県 | 笠岡市 | 島人でつくる『今も聴こえる石切の唄』のおはなし | 特定非営利活動法人<br>かさおか島づくり海社 |
| 合計 | | ２県　　２市　　２事業 | |

（視察研修型事業）

| 都道県 | 市町村 | 事業名 | 事業主体 |
|---|---|---|---|
| 鹿児島県 | 西之表市 | としどんの継承とルーツをたどる交流推進事業 | 野木平地域<br>としどん保存会 |
| 鹿児島県 | 屋久島町 | まなびじま奥尻プロジェクト視察研修事業 | 個人 |
| 合計 | | １県　　２市町　　２事業 | |

（活動助成型事業）

| 都道県 | 市町村 | 事業名 | 事業者所属 |
|---|---|---|---|
| 宮城県 | 石巻市 | 網地島アドベンチャー「遊学かがやき隊」島の魅力・見つけて、活かして、繋ぎたい | 東北福祉大学<br>オリーブクラブ |
| 山口県 | 周南市 | すだいだい（代々）プロジェクト | 拓殖大学関ゼミナール |
| 合計 | | ２県　　２市　　２事業 | |

（研究助成型事業）
採択辞退のため、助成実績なし。

## （７）受託事業

令和元年度は直接補助事業団体として採択され、以下の補助事業を実施した。

①資源エネルギー庁補助事業

１）事業名

平成３１年度　離島への石油製品の安定・効率的な供給体制の構築支援事業

２）事業実施期間

平成３１年４月１日～令和２年３月３１日

３）補助金額

22,816,195 円（間接事業費 18,415,705 円、管理事業費 4,400,490 円）

４）事業実施の趣旨

離島における石油製品の安定的かつ低廉な供給の確保を図るため、離島の石油製品の流通合理化・安定供給対策の策定を支援する事業に要する経費について補助を行った。

５）主な事業内容

ア．間接補助事業

「三島村における石油製品の安定・効率的な供給体制構築に向けた調査・検討事業」

鹿児島県三島村における石油製品流通に関する実態調査、鹿児島県十島村宝島への先進地視察、村民アンケート、住民説明会などを実施し、その結果などに基づき同村における石油製品の安定及び効率的な供給体制のあり方について検討を行った。

その結果、硫黄島を最初の給油所整備対象とすることが決まった。加えて、給油所整備のロードマップを作成。令和 2 年度に硫黄島での用地の選定と給油所の基本設計、役場職員の危険物取扱者資格の取得などを行ない、同 3 年度に給油所の整備及び運営を開始するというおおまかなスケジュールが示された。また、硫黄島と並行して同様のスキームで黒島及び竹島においても給油所の整備についての検討を行うこととなった。

「豊島石油製品安定・効率的供給体制構築支援事業」

香川県土庄町豊島の産廃撤去完了にともなう石油需要の減少と給油所施設の老朽化を背景とした、全島内ＳＳ事業者（２社）の撤退意向に対応するための調査・検討を実施した。

香川県石油商業組合を事務局に、土庄町、島内の石油販売店、特約店、住民代表、航路事業者、有識者などからなる「豊島石油製品の安定・効率的な供給体制の構築支援事業協議会」を立ち上げ、豊島及び小豊島における石油製品流通に関する実態調査、関係者ヒアリング結果などを踏まえ、同協議会で検討、豊島のＳＳの存続に向けたロードマップを作成した。これは想定される事態を整理し、その対応策や事前に検討すべきことなどをまとめたもので、ロードマップに基づき、次年度以降は町が主体となり本件について継続協議していくべきとの提言がなされた。

イ．事務処理事業（管理事業）

間接補助事業者の公募、選定、事業の管理などを行った。

間接補助事業者の公募では、本財団ＨＰにて広く一般に告知したほか、会員市町村の担当者へ直に案内を送るなど、一人でも多くの関係者に本事業を知っていただくよう努めた。また全国石油商業組合連合会にご協力いただき、関係都道県の石油商業組合へ本事業の実施と活用について案内を行った。

間接補助事業者の選定にあたっては、学識者、関係団体、石油製品物流事業者、行政からなる「離島への石油製品の安定・効率的な供給体制の構築支援事業に係る選定委員会」を設置し、公平かつ多角的な視点で審査した。追加公募では、時間の都合上選定委員会を開催せず、委員各位に追加申請案件の内容について説明しご意見を伺った上で、委員長に説明・報告、委員長の一任により採択を行った。

選定後は、本財団職員を各間接補助事業者が開催する委員会などへ派遣し、事業の適切な管理を行うよう努めた。

このほか過年度事業のフォローアップとして沖縄県座間味村・渡嘉敷村への実態調査を実施した。また、石油製品流通困難離島の実態調査として、岡山県笠岡市笠岡諸島、高知県宿毛市沖の島、鹿児島県瀬戸内町請島・与路島への現地調査を行った。後者の調査では、可能な限り本事業の選定委員に同行いただき離島の現状や課題について意見をいただくなど、今後の事業に結びつけるよう心掛けた。調査結果については、報告書としてとりまとめた上、選定委員各位に報告した。

令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第３項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和２年５月
公益財団法人 日本離島センター